

2 番の歌 あなたの名はエホバ

エホバの名前は私たちにとってどれほど大切か

「エホバはこう宣言する。『あなたたちは私の証人である』」。 [イザヤ 43:10](#)

ポイント： エホバの名前を神聖なものとし、 名誉を回復させるために 私たちには何ができますか。

1-2. イエスがエホバの名前をとて大切にしている、といえるのはどうしてですか。

イエスにとって エホバの名前よりも大切なものはありません。また、 イエスほどエホバの名前を思って行動する方はいません。前の記事で考えたように、 エホバの名前を愛し、エホバの 名誉を守るために喜んで命を犠牲にしました。（[マル 14:36](#) こう言った。「アバ、父よ、あなたには全てのことが可能です。この杯を私から取り除いてください。それでも、私の望むことではなく、あなたの望まれることを」。 [ヘブ 10:7-9](#) 私は言いました。『ご覧ください、私は来ました。巻物に私について書いてある通り、神よ、 あなたの望まれることを行うためにです』」。 8 キリストは初めにこう言っています。「あなたは、犠牲や捧げ物、全焼の捧げ物や罪の捧げ物を望まず、喜ばれませんでした」。これらは律法に従って捧げられる犠牲です。 9 それからこう言っています。「ご覧ください、私はあなたの望まれることを行うために来ました」。キリストは、第二のものを確立するために、第一のものを除き去るのです。）さらに、 1000年の統治の終わりには、 エホバの名前が神聖なものとされるために王権をエホバに返します。（[コリ 15:26-28](#) そして最後の敵である死が除き去られます。 27 神は「彼を全てのものの上に立たせた」からです。ここで、「全てのもの」が服従するようになったと述べられているとはいえ、その中に、全てのものをキリストに服従させた方が含まれていないのは明らかです。 28 全てのものがキリストに服従させられた後、神の子自身も、全てのものを自分に服従させた方に服従します。こうして、誰にとっても神が全てになるのです。）イエスが これほどまでにエホバの名前を大切に思っていることから、 エホバへの強い愛が伝わってきます。

2 イエスは、 父エホバの名によって地球に来ました。（[ヨハ 5:43](#) 私が天の父の名によって来ているのに、あなた方は私を受け入れません。ほかの人が自分の名によって来れば、あなた方はその人を受け入れるでしょう; [12:13](#) そしてヤシの木の枝を取ってイエスを迎えに出て、こう叫び始めた。「お救いください、この方を！ エホバの名によって来る方、イスラエルの王が祝福されますように！」） エホバの名前を弟子たちに知らせました。（[ヨハ 17:6](#) 私は、あなたが世から取って託してくださった人たちにあなたのお名前を明らかにし(*知らせ)ました。この人たちはあなたのものでしたが、私に託してくださいました。彼らはあなたの言葉を守っています、 [26](#) 私はあなたのお名前を彼らに知らせました。これからも知らせます。あなたが私を愛してくださったように彼らが愛を示し(d*愛してくださった愛が彼らの内にあり)、私が彼らと結び付いているため

す」。) エホバの名によって教え、奇跡を起こすこともしました。(ヨハ 10:25 イエスは答え
た。「私は言いましたが、あなた方は信じません。父の名によって私が行っている事柄を見れ
ば、私が誰かは明らかです。) また、イエスはエホバに「お名前のために」弟子たちを見守って
ください、とお願いしました。(ヨハ 17:11 私は世からいなくなりますが、この人たちは世にい
ます。私はあなたのもとに向かいます。聖なる父よ、あなたは私にあなたのお名前を託してくだ
さいました。そのお名前のためにこの人たちを見守ってください。私たちが一つであるように、
彼らも一つになるためです。) イエスがここまでエホバの名前を大切にしているのであれば、イ
エスの弟子だと言う人も当然神の名前を知っていてそれを使うはず

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 私たちはクリスチャンとしてイエスに従いたいと思うので、エホバの名前を愛し、大切にしま
す。(ペテロ 2:21 皆さんはこうした道に招かれました。キリストでさえ皆さんのために苦しみ、
その歩みに皆さんがしっかり付いてくるよう手本を示しました。) この記事では①「王国の良い
知らせ」を伝えている人たちがどうしてエホバの証人と呼ばれるかを考えます。(マタ 24:14 そ
して、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終
わりが来ます。) また②エホバの名前が私たち一人一人にとってどれほど大切かも取り上げます

「ご自分の名のための民」

4. (ア) イエスは天に戻る前、弟子たちにどんなことを指示しましたか (イ) イエスが言ったことからどんな疑問が湧きますか。

4 イエスは天に戻る前、弟子たちにこう言いました。「聖なる力があなたたちに働く時、あなた
たちは力を受け、エルサレムで、ユダヤとサマリアの全土で、また地上の最も遠い所にまで、私
の証人となります」。(使徒 1:8 しかし、聖なる力があなたたちに働く時、あなたたちは力を受
け、エルサレムで、ユダヤとサマリアの全土で、また地上の最も遠い所にまで、私の証人となり
ます」。) 良い知らせはイスラエル以外の所にも広く伝えられることになっていました。そし
て、全ての国の人々にイエスの弟子になる機会が与えられます。(マタ 28:19, 20 それで、行っ
て、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、 20 私
が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共に
いるのです」。) イエスが「あなたたちは.....私の証人となります」と言ったことに注目してく
ださい。弟子になる人たちはイエスの証人になるだけでよいということでしょうか。エホバの名
前は知らなくてよいのでしょうか。使徒 15 章に書かれていることを読むと、答えが分かります。

5. クリスチャンにとって神の名前はとても大切なものです。どんなことからそれが分かりますか。(挿絵も参照。)

5 西暦 49 年、エルサレムにいた使徒と長老たちは、大切なことを話し合うために集まります。割
礼を受けていない異国人はクリスチャンになるために何をする必要があるか、ということです。
話し合いの終盤でイエスの弟ヤコブが次のように言います。「[ペテロ]は、神が初めて異国の
人々に注意を向けて、その中からご自分の名のための民を取り出した次第を十分に話してくれま
した」。誰の名のことを言っていたのでしょうか。ヤコブはアモスの預言を引用して、こう続け

ます。「残っている人たちが、全ての国の人々、**私の名で呼ばれる人々と共に、心からエホバに仕えるため**である。**私エホバがそう言っている**」。(使徒 15:14-18 シメオンは、神が初めて異国の人々に注意を向けて、その中からご自分の名のための民を取り出した次第を十分に話してくれました。15 預言者の言葉はこのことと一致しています。こう書いてあります。16 『これらのことの後、私は戻って、倒れたダビデの天幕を再び起こす。その廃虚を建て直して元に戻す。17 残っている人たちが、全ての国の人々、私の名で呼ばれる人々と共に、心からエホバに仕えるためである。私エホバがそう言っている。私がこれらのことを行っており、18 昔からそう決めていた』。) **クリスチャンになる人たちは、エホバについて学ぶだけでなく、「[エホバ]の名で呼ばれる**」ことになっていました。つまり、**エホバの名前を背負い、エホバの名で知られる**ということです。



1 世紀の**統治体**は、**クリスチャンが神の名のための民**だとはっきり理解した。(5 節を参照。)

6-7. (ア) イエスは**何のために地球に来ましたか**。(イ) イエスが地球に来たことには、**ほかにもどんな理由**がありましたか。

6 **イエスの名前**には「**エホバは救い**」という意味があります。**エホバはイエスを通して、信仰を持つ人たち全てが救われるようにします**。イエスが地球に来たのは、人類に命を与えるためでした。(マタ 20:28 人の子も、仕えてもらうためではなく仕えるために、また**多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来ました**。) イエスの贖いによって人間が救われ、永遠に生きるための道が開かれました。(ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで**永遠の命を受けられるように**しました。)

7 でも、そもそも**人類が救われる必要があったのはなぜ**ですか。それはエデンの園で起きたことと関係があります。前の記事で学んだように、**アダムとエバはエホバに反逆**したため、**永遠に生きることができなくなりました**。(創 3:6 そこで女がその木を見ると、おいしそうな実が付いていて、魅力的な美しい木に見えた。それで女はその木の実を取って食べ始めた。その後、一緒にいた時に夫にも渡した。夫もそれを食べ始めた、24 こうして神は人を追い出し、ケルブたちと、**回転し続ける炎の剣とをエデンの園の東に配置して、命の木への道を守らせた**。)それで、**人間には救いが必要**になりました。でもこの時、**もっと重要な問題が持ち上がって**いました。**エホバ**

の名誉がひどく傷つけられたので、エホバの名前つまり評判が回復されなければいけなくなりしました。（創3:4, 5 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。5 その木の実を食べた日に、目が開かれ、あなたたちが神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」。）そしてこれは、人間が救われるかどうかよりもっと大切なことです。とはいえ、人間の救いとエホバの名前が神聖なものとされることには深い関係があります。イエスはエホバの名前を背負って地球に来て、エホバの望むことを全てその通りに行いました。そのようにして、ほかの誰にもできないような仕方エホバの名前を神聖なものとしました。

イエスの弟子だと言う人は、当然エホバの名前を知っていてその名前を使う。

8. イエスに信仰を持つ人は、どんなことをしなければいけませんか。

8 イエスに信仰を持つ人は、ユダヤ人も異国の人たちも、自分たちを救えるのはエホバだということを認める必要がありました。（ヨハ17:3 永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要があります。）また、イエスと同じように、エホバの名前で知られることになります。エホバの名前を神聖なものにすることがどれほど大切かも理解しなければいけませんでした。人間が救われるためには、そのことがどうしても必要だからです。（使徒2:21, 22 エホバの名を呼ぶ人は皆救われる』。22 イスラエルの皆さん、この言葉を聞いてください。神は、あなた方が知っている通り、ナザレ人イエスを通してあなた方のただ中で強力な行いと不思議なことと奇跡(d*しるし)を行い、イエスをあなた方にはっきり示しました。）それで、イエスに従いたいと思う人は、エホバについても学ぶことが大切です。ヨハネ17章に記録されている祈りの中で、イエスはこう言っています。「私はあなたのお名前を彼らに知らせました。これから知らせます。あなたが私を愛してくださったように彼らが愛を示し、私が彼らと結び付いているためです」。（ヨハ17:26 私はあなたのお名前を彼らに知らせました。これから知らせます。あなたが私を愛してくださったように彼らが愛を示し(d*愛してくださった愛が彼らの内にあり)、私が彼らと結び付いているためです」。）

「あなたたちは私の証人である」

9. エホバの名前を大切に思っている人はどうしますか。

9 イエスの弟子として、私たちもエホバの名前が神聖なものとされることを強く願う気持ちを持ちたいと思います。（マタ6:9, 10 それで、このように祈らなければなりません。『天におられる私たちの父よ、お名前が神聖なものとされますように。10 あなたの王国が来ますように。あなたの望まれることが、天と同じように地上でも行われますように。』）でもそれだけでなく、エホバの名前を何よりも大切に思っていることを行動で示さなければいけません。では、エホバの名前を神聖なものとし、サタンが傷つけてきたエホバの評判を回復させるために何ができますか。

10. イザヤ42章から44章にはどんな法廷の場面が描かれていますか。（イザヤ43:9; 44:7-9）（写真と挿絵も参照。）

10 イザヤ42章から44章を読むと、エホバの名前を神聖なものとするために私たちに何ができるかが分かります。その部分では、誰が本当の神なのか争点になっている法廷の場面が描かれて

います。エホバは、偽の神々が自分たちの正しさを証明することなどできないだろう、と言っています。さらに、できるものなら証人を連れてきて、自分たちが本当の神であることを証言させなさい、とも言います。でも偽の神の証人になれる人は誰もいません。(イザヤ 43:9 全ての国は1つの場所に集合し、人々は集まれ。彼ら(偽りの神々のことと考えられる)のうち誰がこれを告げられるか。誰が最初の事柄(将来に起きる最初の事柄のことかもしれない)を私たちに聞かせられるか。彼らに証人を出させ、自分たちの正しさを証明させてみよ。聞く者たちに、『それは真実だ!』と言わせてみよ」; 44:7-9 私のような者がいるだろうか。その者は声を上げ、そのことを主張し、私に証明してみよ! 私が昔の民を定めた時からしてきたように、間もなく起きる事柄や、やがて生じる事柄を告げてみよ。8 あなたたちは恐れてはならない。恐怖で身がすくむことがないようにしなさい。私は前もって一人一人にはっきり告げたではないか。あなたたちは私の証人である。私のほかに神がいるだろうか。いや、ほかに岩のような者はいない。私は全く知らない』」。9 彫刻像を作る者は皆むなしく、彼らがあがめている物は何の役にも立たない。それらの像は何も見ず、何も知らないのだから、証人にはなり得ない。それで、作った者たちは恥をかくことになる。) を読む。



私たちはいろいろな場面 でいわば証人として法廷に立ち、語っている。(10-11 節を参照。)

11. [イザヤ 43 章 10-12 節](#) で、エホバは自分に仕える人たちにどんなことを言いましたか。

11 [イザヤ 43:10-12](#) エホバはこう宣言する。「あなたたちは私の証人である。私に仕える者であり、私が選んだのである。あなたたちが私を知り、私に信仰を持ち(*私を信頼し)、私が変わらないことを理解するために。私の前に存在するようになった(d*形作られた)神はおらず、私の後にもいない。11 私、この私がエホバであり、ほかに救い主はいない」。12 エホバはこう宣言する。「あなたたちの中にほかの神がいなかった時に、私こそが、救うと告げ、実際に救い、そのことを知らせた。それで、あなたたちは私の証人であり、私は神である。 を読む。エホバは自分に仕える人たちにこう言っています。「あなたたちは私の証人であり、私は神である」。さらにエホバは私たちにこのような質問を投げ掛けています。「私のほかに神がいるだろうか」。([イザヤ 44:8](#) あなたたちは恐れてはならない。恐怖で身がすくむことがないようにしなさい。私は前もって一人一人にはっきり告げたではないか。あなたたちは私の証人である。私のほかに神がいるだろうか。いや、ほかに岩のような者はいない。私は全く知らない』」。) 私たち一人一人はこの質問に答えを出すことができます。言葉と行動によって、エホバ以外に本当の神はいないと

いうことを証明できます。とても光栄なことです。エホバの名前は宇宙で一番大切にされるべき名前です。私たちはサタンからどんなプレッシャーをかけられても、エホバから決して離れず、エホバを心から愛し続けます。そういう生き方をすれば、私たちもエホバの名前を神聖なものとすることができます。

12. [イザヤ 40 章 3, 5 節](#)はどのように実現しましたか。

12 エホバの名前つまり評判を守るなら、イエス・キリストに倣っていることになります。イザヤは「エホバの道を整え[る]」人が現れることを予告していました。（[イザ 40:3](#) 荒野で叫ぶ声がする。「エホバの道を整えよ(*きれいにせよ)！私たちの神のために、砂漠を通る真っすぐな街道を造れ。」）このことは、バプテスマを施す人ヨハネがイエスのために道を整えることによって実現しました。イエスはエホバの名によって来て、エホバの名によって語りました。（[マタ 3:3](#) この人については、預言者イザヤを通して次のように言われていた。「荒野で叫ぶ声がする。『エホバの道を整えよ。その道路を真っすぐにせよ』」。[マル 1:2-4](#) 預言者イザヤの書にこう書かれている通りである。「(私はあなた(d*あなたの顔)の前に使者を遣わす。その使者はあなたの道を整える。)」3 荒野で叫ぶ声がする。『エホバの道を整えよ。その道路を真っすぐにせよ』」。[4](#) この言葉の通り、バプテスマを施す人ヨハネが荒野で、罪の許しのための悔い改めを象徴するバプテスマについて伝道した。[ルカ 3:3-6](#) それでヨハネはヨルダン川一帯を巡り、罪の許しのための悔い改めを象徴するバプテスマについて伝道した。[4](#) 預言者イザヤの言葉の書にこう記されている通りである。「荒野で叫ぶ声がする。『エホバの道を整えよ。その道路を真っすぐにせよ。[5](#) 全ての谷を埋め、全ての山と丘を平らにしなければならず、曲がった道を真っすぐにし、でこぼこの道をならさなければならない。[6](#) そして全ての人が神の救い(*神の救いの手段/神による救い)を見る』」。) イザヤはエホバの道を整えることに触れた後、「エホバの栄光が明らかにされ[る]」ことも予告しました。（[イザ 40:5](#) エホバの栄光が明らかにされ、全ての人が共にそれを見る。エホバの口が語ったのである。）これはどういう意味でしょうか。イエスは地球にいた時、まるでエホバがそこにいるかのようにエホバに完璧に倣いました。そのようにしてエホバの栄光を明らかにしたのです。（[ヨハ 12:45](#) また、私を見る人は、私を遣わした方をも見ます。)

13. 私たちはどのようにイエスに倣えますか。

13 私たちもイエスと同じくエホバの証人です。エホバの名前を背負い、エホバがどれほど素晴らしいことをしているかをみんなに知らせます。でも、証人としてほかにもしなければいけないことがあります。エホバの名前を神聖なものとするために、イエスがどんなことをしているのかも人に知らせなければいけません。（[使徒 1:8](#) しかし、聖なる力があなたたちに働く時、あなたたちは力を受け、エルサレムで、ユダヤとサマリアの全土で、また地上の最も遠い所にまで、私の証人となります。)

イエスはエホバの最高の証人なので、私たちはイエスの手本に倣います。（[啓 1:5](#) また、「忠実な証人」、「生き返った人々の中の初子」、「地上の王たちの統治者」であるイエス・キリストからも、惜しみない親切が示され、平和が与えられますように。私たちを愛し、自分の血によって私たちを罪から解放してくださった方に）では、エホバの名前は私たちそれぞれにとってどれほど大切なものなのでしょうか。

エホバの名前は私たちにとってどれほど大切か

14. 私たちは詩編 105 編 3 節にあるように、エホバの名前についてどう感じていますか。

14 私たちはエホバの名前を誇りに思っている。(詩編 105:3 神の聖なる名を誇れ。エホバに導きを求める人は心から喜べ。を読む。) 私たちがエホバの名前を誇りに思う時、エホバはとても喜んでくれます。(エレ 9:23, 24 エホバはこう言う。「賢い人は知恵を誇ってはならない。強い人は力を誇ってはならない。裕福な人は富を誇ってはならない」。24 「誇る人は、私について理解(*洞察)し知っていることを誇りなさい。私はエホバであり、揺るぎない愛と公正と正義を地上で示す。それらのことを私は喜ぶのである」と、エホバは宣言する。コリ一 1:31 ですから、書かれている通り、「誇る人はエホバについて誇るべきです」。コリ二 10:17 「誇る人はエホバについて誇るべきです」。) エホバの名をたたえ、エホバの評判を高めるのは光栄なことです。自分がエホバの証人であることを、同僚、学校の友達、近所の人たちに知らせることを恥ずかしく思ったりはしません。悪魔は私たちがエホバの名前を知らせることをやめさせようとします。(エレ 11:21 エホバはアナトテの人たちに対して語る。彼らはあなたの命を奪おうとしており、こう言う。「エホバの名によって預言するな。さもないと、われわれの手に掛かって死ぬことになる」。啓 12:17 それで竜は女に対して激怒し、彼女の子孫(d*種)のうちの残っている人たち、すなわち、神のおきてを守り、イエスについて証言する務めを与えられている人たちと戦うために去っていった。) サタンとサタンのようにうそを広める人たちは、エホバの名前を忘れさせようとします。(エレ 23:26, 27 この預言者たちはいつまで心の中で偽りの預言をし続けるのか。彼らは自分たちの心のたくらみ(*欺き)を預言している。27 彼らの父祖たちがバアルのゆえに私の名を忘れたように、彼らは見た夢について語り合うことによって私の民に私の名を忘れさせようとしている。) でも、私たちはエホバの名前を愛しているので、忘れるどころか、その名前のことで「一日中喜[び]」ます。(詩 5:11 しかし、あなたのもとに避難する人は皆喜び、絶えず歓声を上げる。あなたはその人たちをかばい、あなたの名を愛する人たちはあなたのおかげで喜ぶ。89:16 民はあなたの名のことで一日中喜ぶ。あなたの正しさによって重んじられる。)

15. エホバの名前を呼ぶとはどういう意味ですか。

15 私たちはエホバの名前を呼ぶ。(ヨエ 2:32 エホバの名を呼ぶ人は皆救われる。エホバが言った通り、逃れた人たちがシオンの山とエルサレムにいることになる。エホバが呼び寄せる、生き残る人たちである」。ロマ 10:13, 14 「エホバの名を呼ぶ人は皆救われる」のです。14 しかし、信仰を持っていなければ、どうして呼び掛けられるのでしょうか。また、聞いたことがなければ、どうして信仰を持てるのでしょうか。また、伝道する人がいなければ、どうして聞けるのでしょうか。) エホバの名を呼ぶとは、エホバの名前を知ってその名前を使うということだけではありません。エホバがどんな神かを知り、信頼することでもあります。そしていつもエホバに導いてもらおうとします。(詩 20:7 ある人は兵車に、ある人は馬に頼る。しかし私たちは神エホバの名を呼ぶ。99:6 モーセとアロンは神の祭司。サムエルは神の名を呼んだ。彼らが呼び掛けると、エホバは答えた。116:4 その時、エホバの名を呼んだ。「エホバ、助け出してください!」。145:18 エホバは、ご自分に呼び掛ける全ての人の近くにいる。ご自分に誠実に(*正しく)呼び掛ける全ての

人の近くにいる。) また、エホバの名前や魅力的な性格について周りの人に知らせます。さらに、生き方を改めてエホバに喜ばれることをするよう勧めます。(イザ 12:4「そして、その日こう言う。「エホバに感謝し、神の名を呼べ。神の行いを人々に知らせよ。その名がたたえられていることを広めよ。使徒 2:21「エホバの名を呼ぶ人は皆救われる」』, 38「ペテロは言った。「悔い改めなさい。そして一人一人、罪の許しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます。)

16. サタンがうそつきだと証明するために何ができますか。

16 私たちはエホバの名前のために喜んで苦しみに耐える。(ヤコ 5:10, 11「兄弟たち、苦しみに耐え、辛抱する点で、エホバ(*)の名によって語った預言者たちを模範としてください。11 私たちは、忍耐した人は幸せである(*祝福されている)と考えます。皆さんはヨブの忍耐について聞き、ヨブがエホバ(*)のおかげでどんな結末を迎えたかを知っています。エホバ(*)は優しい愛情(*思いやり)にあふれ、憐れみ深い方なのです。) 苦しい目に遭ってもエホバから離れないなら、サタンがうそつきだと証明することができます。ヨブの時代、サタンはエホバに仕えている人たちについて、次のように言いました。「人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します」。(ヨブ 2:4「サタンはエホバに答えた。「誰でも自分の身が一番(d*皮膚のためには皮膚)です。人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します。)

人がエホバに仕えるのは物事が順調にいつている時だけで、大変な目に遭ったらエホバを裏切る、と主張していました。ヨブはサタンの言い分が真っ赤なうそだということを見事に証明しました。私たちもそうできます。サタンにどんなことをされてもエホバに背を向けず、心から仕え続けることによってです。そうやってエホバの名前のために喜んで苦しみに耐える私たちを、エホバはいつも見守り、支えてくれます。(ヨハ 17:11「私は世からいなくなりますが、この人たちは世にいます。私はあなたのもとに向かいます。聖なる父よ、あなたは私にあなたのお名前を託してくださいました。そのお名前のためにこの人たちを見守ってください。私たちが一つであるように、彼らも一つになるためです。)

17. ペテロ第一 2 章 12 節にあるように、エホバの名前をたたえるためにどんなこともできますか。

17 私たちはエホバの名前に恥じない生き方をします。(格 30:9「私が満ち足りてあなたを裏切り、「エホバとは誰か」と言うことのないため、貧しくなって盗みを働き、私の神の名を汚す(*損なう)ことのないためです。エレ 7:8-11「ところが、あなたたちは欺きの言葉を信用している。それは全く無益である。9「あなたたちは、盗んだり、人を殺したり、姦淫をしたり、うその誓いをしたり、バアルに犠牲を捧げ(*のために犠牲の煙を立ち上らせ)たり、知らなかった神々に従ったりしながら、10「私の名が付されたこの家に来て、私の前に立ち、『私たちは救われる』と言えるのか。あらゆる忌まわしい事柄を行っているというのに。11「私の名が付されたこの家は、あなたたちには強盗のすみかに見えるのか。私はあなたたちの行いを見た」と、エホバは宣言する。) 私たちはエホバの名前を背負っているのです、エホバの評判を高めることも低めることもできます。(ペテロ第一 2:12「世の人々の中でいつも立派に行動してください。そうすれば人々は、皆さんのことを悪人だと非難していても、皆さんの立派な行動を見て、検分の日には神をたたえるようになる)

るでしょう。を読む。) 私たちは何を言う時も何をすることも、いつもエホバの評判を高めたいと思います。時には失敗してしまうこともありますが、ベストを尽くせばエホバの名前をたたえることに貢献できます。

18. エホバの名前を大切にすることはどんな考え方をしますか。(脚注も参照。)

18 私たちは自分がどう思われるかよりも、エホバの名前がどう思われるかを気に掛ける。(詩 138:2 あなたの聖なる神殿(*聖なる所)に向かってひれ伏し、あなたの名を賛美する。あなたは揺るぎない愛を示し、信頼できる方だから。あなたはご自分の言葉と名を、何よりも(if*ご自分の言葉を、ご自分の全ての名よりも)素晴らしいものにした。) このことはとても大切です。エホバの名前を愛していると、ほかの人から悪く言われることがあるからです。*ヨブも3人の友から自分のことを悪く言われた時、取り乱しました。子供たちや持ち物を失った時には「罪を犯さず、神を非難し」ませんでしたが、悪いことをしていると批判された時には感情をコントロールできず、「言葉が過ぎ」てしまいました。この時のヨブが特に気にしていたのは自分の評判を守ること、エホバの名前を神聖なものとするものではありませんでした。(ヨブ 1:22; 2:10; 6:3; 13:4, 5; 32:2; 34:5) イエスは周りから犯罪者と見られ、屈辱的な死に方をしました。それでも、エホバの名誉を守るために「恥を物ともせず」、その死に方を受け入れました。周りからどう思われるかを気にし過ぎることはありませんでした。(ヘブ 12:2-4 私たちの信仰を導き、完全にしてくださる方であるイエスを一心に見つめながら走るのです。イエスは、前途にある喜びのために、恥を物ともせず苦しの杭(*)に耐え、神の座の右に座りました。3 罪人たちは自分に害を招く敵対的な言葉を語り、イエスはそれを忍耐しました。そのイエスのことをよく考えてください。そうすれば、疲れて諦めてしまうことはないでしょう。4 皆さんは罪と闘っていますが、まだ血を流すまで抵抗したことはありません。)

エホバが望んでいることをやり遂げることにひたすら集中していたからです。(マタ 26:39 そして少し進んでいき、ひれ伏して祈った。「父よ、もしできることでしたら、この杯を私から取り去ってください。それでも、私が望む通りにではなく、あなたが望まれる通りになりますように」。)

19. あなたはエホバの名前をどう思っていますか。

19 私たちはエホバの名前を誇りに思っていて、エホバの証人と呼ばれることをうれしく感じています。エホバの名前を何よりも大切にしているので、周りからばかにされるとしてもエホバをたたえ続けます。自分がどう思われるかは大切ではありません。エホバの名前や名誉が回復されることの方がもっと大切です。サタンが何をしてくるとしても、これからもエホバの名誉を守るために行動しましょう。私たちはイエス・キリストと同じようにエホバの名前を心から大切に、愛しているからです。

何を学びましたか

1. 本当のクリスチャンにとってエホバの名前がとても大切なのはどうしてですか。

・S05 クリスチャンになる人たちは、エホバについて学ぶだけでなく、「[エホバ]の名で呼ばれる」ことになっていた。つまり、エホバの名前を背負い、エホバの名で知られるということ。1世紀の統治体は、クリスチャンが神の名のための民だとはっきり理解した。

・S08 イエスに信仰を持つ人は、ユダヤ人も異国の人たちも、自分たちを救えるのはエホバだということを認める必要があった。また、イエスと同じように、エホバの名前で知られることになる。エホバの名前を神聖なものにすることがどれほど大切かも理解しなければいけなかった。人間が救われるためには、そのことがどうしても必要だから。それで、イエスに従いたいと思う人は、エホバについても学ぶことが大切。

2. 私たちはどういう意味で法廷に立っていますか。

・S10 エホバは、偽の神々が自分たちの正しさを証明することなどできないだろう、と言っている。さらに、できるものなら証人を連れてきて、自分たちが本当の神であることを証言させなさい、とも言う。でも偽の神の証人になれる人は誰もいない。一方、私たちはいろいろな場面でいわば証人として法廷に立ち、語っている。

・S11 エホバは自分に仕える人たちにこう言っています。「あなたたちは私の証人であり、私は神である」。さらにエホバは私たちにこのような質問を投げ掛けている。「私のほかに神がいるだろうか」。私たち一人一人はこの質問に答えを出すことができ、言葉と行動によって、エホバ以外に本当の神はいないということを証明できる。とても光栄なこと。エホバの名前は宇宙で一番大切にされるべき名前。私たちはサタンからどんなプレッシャーをかけられても、エホバから決して離れず、エホバを心から愛し続け、エホバの名前を神聖なものにすることができる。

3. 私たちはエホバの名前を大切に思っているので、どんなことをしますか。

・S14 私たちはエホバの名前を誇りに思っている。：エホバの名をたたえ、エホバの評判を高めるのは光栄なことです。自分がエホバの証人であることを、同僚、学校の友達、近所の人たちに知らせることを恥ずかしく思ったりはしません。悪魔は私たちがエホバの名前を知らせることをやめさせようとする。

・S15 私たちはエホバの名前を呼ぶ。：エホバの名を呼ぶとは、エホバがどんな神かを知り、信頼することでもある。そしていつもエホバに導いてもらおうとする。また、エホバの名前や魅力的な性格について周りの人に知らせ、生き方を改めてエホバに喜ばれることをするよう勧める。

・S16 私たちはエホバの名前のために喜んで苦しみに耐える。：苦しい目に遭ってもエホバから離れないなら、サタンがうそつきだと証明することができる。エホバの名前のために喜んで苦しみに耐える私たちを、エホバはいつも見守り、支えてくれる。

・S17 私たちはエホバの名前に恥じない生き方をする。：私たちは何を言う時も何をする時も、いつもエホバの評判を高めたいと思います。時には失敗してしまうこともありますが、ベストを尽くせばエホバの名前をたたえることに貢献できる。

・S18-19 私たちは自分がどう思われるかよりも、エホバの名前がどう思われるかを気に掛ける。：私たちは、エホバの証人と呼ばれることをうれしく感じて、エホバの名前を何よりも大切にしているので、周りからばかにされるとしてもエホバをたたえ続ける。自分がどう思われるかは大切ではなく、エホバの名前や名誉が回復されることの方が大切。

10 番の歌 私たちの神エホバを賛美しましょう！